

医療機関で専門家によるハンズオン説明会を開催

総務省四国総合通信局と四国の医療機関における電波利用推進協議会は、令和7年12月11日（木）に香川県臨床工学技士会からの要請のあった、ハンズオン支援によるオンライン説明会を、35名の参加により開催しました。

今回は、滋慶医療科学大学大学院の 加納 隆 客員教授をお招きし、香川県臨床工学技士会の医療関係者へ、「医用テレメータ電波不感エリア対策と電波管理実践ガイドについて」と題して、医療機関における電波のトラブル事例や原因とその解決策をご紹介いただきました。

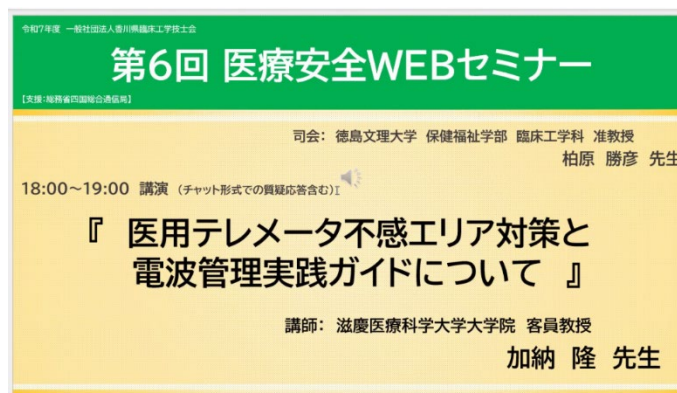
あわせて、医用テレメータのトラブルを未然に防ぐため、看護師、臨床工学技士及び医療機関管理者・事務職の各立場で、電波管理を適切に行い、必要な情報を共有するポイントを、電波管理実践ガイドに沿って詳しくご説明いただきました。

説明の後には、病院内の具体的な電波障害の事例や混信などの質問に対し、原因の可能性や解決策の細やかなアドバイスがあり、予定した時間を大幅に超える説明会となりました。

このハンズオン支援は、電波利用に関し課題をお持ちの医療機関や臨床工学技士等を養成する教育機関、学会の会合などに、講演、電波環境の測定やアドバイス等を行う専門家を総務省から無償で派遣するもので、毎年多くの団体にご活用いただいております。



【加納講師の講演の様様】



四国総合通信局は、今後も医療分野における電波の安全性確保や電波の利活用推進に積極的に取り組んでまいります。

（お問い合わせ先） 電波監理部 電波利用環境課（電話 089-936-5055）